



オンライントーク「ねりま映画サロン」第3弾配信開始！ 役者生活70年 仲代達矢が語る 伝説の監督・俳優たち

公開日

令和3年12月10日（金）

公開URL

<https://nerima-eizobunka.com>

10日（金）、区は、練馬区が誇る映像文化の魅力を区内外に発信する特設ホームページ「映像∞文化のまち ねりまPROLOGUE」の企画として、日本を代表する俳優が映画を語る「ねりま映画サロン」第3弾の配信を開始した。

動画には、俳優の仲代達矢さんに出演いただき、俳優になったきっかけや小林正樹、黒澤明ら巨匠監督、勝新太郎ら個性豊かな俳優との思い出など、映画をテーマに話を伺った。

昭和初期から続く映像文化と繋がり深い練馬区ならではのまちづくり「映像∞文化のまち構想」に基づく取組であり、今後は、映画やアニメ、令和5年にとしまえん跡地に開設されるワーナーブラザーズのスタジオツアー施設など、区の映像文化資源を活かしたイベント等を実施していく。



毒蝮三太夫氏（左）、仲代達矢氏（中）、
山川静夫氏（右）の対談の様子

【特設ホームページ『映像∞文化のまち ねりまPROLOGUE』】

練馬ゆかりの俳優による対談動画「ねりま映画サロン」、練馬と映像文化の関わりを紹介する連続インタビュー企画「ねりま映画人インタビュー」など、映像制作の第一線で活躍する方々（全8名）に関するコンテンツを公開している。今後は、「映像∞文化のまち構想」の関連イベント情報など幅広い情報を発信していく。

【『映像∞文化のまち構想』とは】

区には、昭和7年（1932年）に向山（豊島園）に不二映画撮影所が設立されて以降、実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っており、数多くの優れた映像作品がこの練馬の地からつくり出されてきた。区は、こうした状況を背景に、令和3年11月に「映像∞文化のまち構想」を策定し、映画やアニメなどの映像文化を活かした、ソフト・ハードが一体となった夢のあるまちづくりを進めていく。

【区HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kusei/keikaku/shisaku/sonota/20211202.html>

【参考】出演者プロフィール

仲代 達矢（なかだい たつや）氏

昭和7年生まれ、東京都出身。昭和27年、俳優座養成所入所。舞台「令嬢ジュリー」「どん底」、映画「切腹」「影武者」、テレビ「新平家物語」「大地の子」などに主演。演劇、映画の受賞多数。50年から俳優を育成する「無名塾」を亡き妻・宮崎恭子と主宰。平成19年 文化功労者。27年 文化勲章受章。

毒蝮 三太夫（どくまむし さんだゆう）氏

昭和11年生まれ、東京都品川区出身。昭和34年に日本大学芸術学部映画学科を卒業。「ウルトラマン」「ウルトラセブン」の隊員役で人気を博す。

山川 静夫（やまかわ しずお）氏

昭和8年生まれ、静岡県出身。昭和31年アナウンサーとしてNHKに入局。「紅白歌合戦」の司会を通算13回務めるなどNHKの顔として活躍。

【問い合わせ】練馬区 文化・生涯学習課 文化芸術担当係 電話：03-5984-1358